

なぜ、現場に届かない 医療機器が生まれるのか

UX デザインが埋める開発と臨床の溝

※UX デザインとは使う人の行動・感情・環境を観察し、
製品が「使われ続ける」ように設計・改善するアプローチです。

講師

北村 竜也 Tatsuya Kitamura

広島大学 バイオデザイン部門 特任学術研究員
メディカルデザインラボ株式会社 代表取締役
一般社団法人日本医療健康機器開発協会 理事
株式会社グッドパッチ PM / UX デザイナー
神戸大学大学院 医学研究科 医療創成工学専攻 修士 (医工学)
神戸大学大学院 医学研究科 医療創成工学専攻 博士後期課程在籍



2026年

7月28日 火

17:30-18:30

(17:00 開場 座席は来場順にご案内します)

ハイブリッド開催

広島大学 霞キャンパス 凌雲棟 3F R303
Zoom による Web 配信

講演内容

現場ヒアリングを重ねたのに、なぜ使われない医療機器が生まれるのか。問題はニーズ発見の「その先」である製品の使われ方を設計する「UX デザイン」の欠如にあります。本講義では開発と臨床現場の溝を埋める実践的アプローチを解説。生成 AI を活用した臨床観察データの分析デモ（合成データ使用）を交えながら、医療機器開発に「使われる視点」を組み込む方法を紹介します。ものづくり企業が医療参入で直面する「設計フェーズの壁」を、UX デザイナーの実践知から具体的に解説します。

申込方法

申込期限：7月24日(金)17:00



スマートフォンをお使いの方
左の QR コードをカメラで読み込み
お申し込みください

PCをお使いの方
下記リンクからお申し込みください
<https://forms.cloud.microsoft/r/mSAVGe8SMK>

定員

対面50名
オンラインは人数制限なし

参加費

無料

【主催】広島大学 学術・社会連携室 オープンイノベーション本部 産学連携部 バイオデザイン部門
【共催】広島大学トランスレーショナルリサーチセンター、広島臨床研究開発支援センター、広島県
【協力】ひろしま医療関連産業研究会

〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号
TEL：082-257-1992 E-mail：biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp



HIROSHIMA UNIVERSITY



ENERGY OF PEACE
ひろしま